

活動報告

団体名	NPO 法人 NPO 環境圏研究所
活動名	現地に「住まいの診療所」を設置し、被災家屋の自力再生を支援する活動
活動期間	2016/04/20 ～ 2016/10/31
活動の成果	<p><活動の成果> 本活動の成果として、以下の2点の成果がありました。</p> <p>〔1.住まいの診療カルテ作成成果〕 1) 第三者が問診し、それに基づいた現場調査と処方検討・カルテ記述作業を当事者と協働で行うことによって、今後の生活設計と当面の行動計画を見定める作業が促進できた。 2) 現場での応急処置や、修復・改築に必要な技術者や職人を適材適所で配置することができた。 3) 家屋本体の修復・改築法だけでなく、屋内にある家財道具等の処置法についても、検討・判断が促進された。</p> <p>〔2.拠点施設設置成果〕 1) 被災者には、行き先が不透明な中で自身の家屋とは別の空間（環境）において、集中して将来のことを考えていただき、冷静な判断を促す場となった。 2) 診療チームのメンバーが、所持品を保管する場、宿泊する場として利用でき、利用時間の制約に拘束されずに被災家屋の現場調査活動を進める拠点となった。 3) 施設自体の造りが簡素で構造的な安心感があり、将来の被災や再震(余震)に備えて、自分の手でこのような施設をつくってみたいという感想を持たれた方が少なからずあった。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>皆様からいただきましたご寄付は、当NPO環境圏研究所が熊本震災復興支援特設事業として進めました「住まいの診療所」活動に充てさせていただきました。</p> <p>活動拠点施設として設置しました「木造テント小屋」の利用者は訪問者を含めると100名を越え、診療活動の成果は、家屋の再生（修繕、改築など）に向けた力となりつつあると感じております。</p> <p>当NPOとしましては、この経験を活かして、こうした活動を平素から進めるよう努力する次第です。</p> <p>ここに、ご寄付の御礼を申し上げますとともに、今後ともご助言等いただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p>NPO環境圏研究所 理事長 高木淳二</p>

(活動のようす)

